

EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

日本とオーストリアの 研究者が広島市内の 中学校と高校の授業 を見学しました。



活動日時 2018年9月26日(水)

活動従事者 草原和博, 川口広美



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、2018年9月28日(金)に研究拠点創成フォーラム(8)「私たちはどのような視点で授業をみるかー日本の教科教育学とオーストリアの各科教授学ー」を開催しました。それに先立つ9月26日(水)、オーストリア・ウィーン大学のAlois Ecker先生とグラーツ大学のBettina Paireder先生は、草原和博先生、川口広美先生のコーディネートの下、広島市内の公立学校2校を訪問しました。

広島市立大塚中学校では社会科公民的分野「現代社会の見方・考え方」に関する授業を観察しました。授業は、「効率」と「公正」の概念を用いて、部活動間で校庭を共有する方法や基準を提案しあう活動が展開されていました。

広島県立五日市高等学校では、高校政治経

済「経済学とは? 経済的思考とは?」に関する授業を観察しました。授業では、「トレードオフ」「便益」「費用」「機会費用」などの経済学の基礎概念を用いて、進路選択やゴミのポイ捨てに関する意思決定を考える活動が展開されていました。

2つの授業は、いずれも概念学習を基盤にして、それを日常生活や現実社会の例に転用する、子ども主体の授業アプローチがとられていました。授業後には、授業者と参観者で活発な意見交換が行われました。教師と子どもの関わり方、内容と方法の関係、概念学習の進め方、学習の単位や形態など、日本とオーストリアの社会系教科が抱える共通課題について協議することができました。

なお、これらの授業を分析する「視点」については、28日のシンポジウムで議論することとなりました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

